XL-4000

トラブル解決ブック

B5WY-0281-01

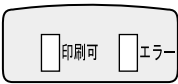
2001年6月初版発行　富士通株式会社

―困ったときにお読みください―

本書は、ページプリンタXL-4000をご使用中にトラブルが発生した場合、すぐに参照できるように常にプリンタの近くに置いてご使用ください。
本書に記載されていない現象が発生した場合は、取扱説明書を参照してください。

LEDランプの見かた 2
紙づまりになったとき.... 4
印刷品質が低下したとき ..12

LED ランプの見かた

本プリンタには次の 2 つの LED ランプがあります。LED ランプは、消灯／点灯／点滅によってプリンタの状態を示します。

印刷可ランプ（緑）
エラーランプ（アンバー）

ここでは、正常時およびエラー時の LED ランプ表示を示します。
なお、LED ランプの状態は以下の記号で表します。

LED ランプ	状態
●	消灯
○	点灯
☼	点滅

正常状態

ランプ		状　態
印刷可	エラー	
●	●	電源が切断されている状態です。
○	●	オンライン状態（印刷可能な状態）です。
○	○	ROM ／ RAM を診断している状態です。（電源投入時）
☼	●	ウォームアップ中、リモートリセット、クリーニング中、またはデータ受信中です。

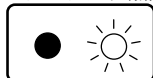
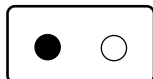
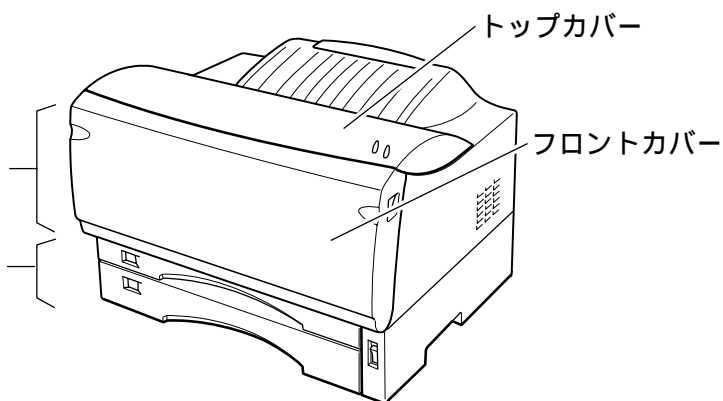
エラー状態

ランプの状態に応じ、以下の手順で確認してください。

ランプ		表示内容	確認事項
印刷可	エラー		
●	○	カセットなしエラー	セットされていないカセットがあるかどうか確認してください。
		用紙なしエラー	用紙があるかどうか確認してください。
		紙づまりエラー （カセット内）	給紙カセット、MP カセットを抜いて紙づまりを確認してください。 （「紙づまりになったとき」（5 ページ）参照）
		用紙サイズ 不一致エラー	カセットにセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが合っているかどうか確認してください。 また、用紙サイズダイヤルの設定が正しいか確認してください。
●	☼	カバーオープンエラー	カバーが閉まっているかどうか確認してください。
		紙づまりエラー （内部）	フロントカバー、トップカバー、給紙カセット、MP カセットで紙づまりが発生しているかどうかを確認してください。（「紙づまりになったとき」（5ページ）参照）
		カートリッジ なしエラー	プロセスカートリッジが正しくセットされていること、また使用できるプロセスカートリッジがセットされていることを確認してください。
繰り返し： ○ （2 秒間点灯） ↓ ☼ （規定の回数点滅） ↓ ● （2 秒間消灯）	○ ↓ ☼ ↓ ●	ハードウェアの 異常検出	いったん電源を切断し、再度投入してください。 それでも表示が変わらない場合は、ランプの状態（何回点滅するか）を控え、ハードウェア修理相談センター（12 ページ参照）へご連絡ください。

紙づまりになったとき

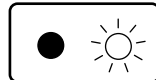
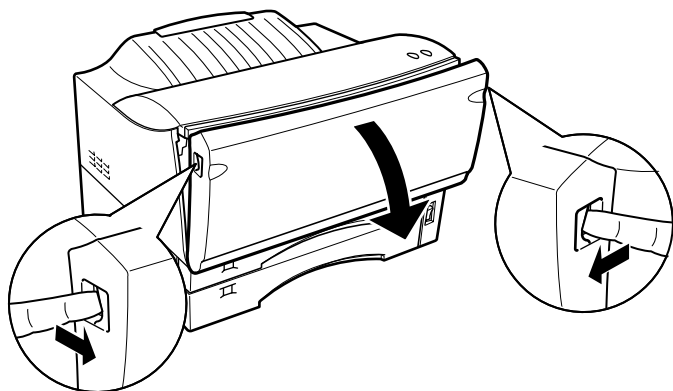
紙づまりが発生すると、エラーランプ（アンバー）が点灯または点滅します。つまった用紙をすべて取り除いてトップカバーとフロントカバーを閉じると、紙づまりが発生したページから印刷が再開されます。

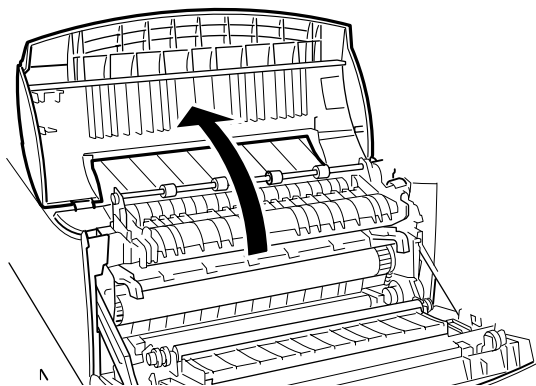
紙づまりの発生箇所

お願い

- つまった用紙を取り除いてトップカバーとフロントカバーを閉じてもエラーランプが点灯または点滅したままのときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。
- 紙づまりが発生したら、必ず一度、トップカバーとフロントカバーを開閉してください。
- 用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。

紙づまりの取り除きかた

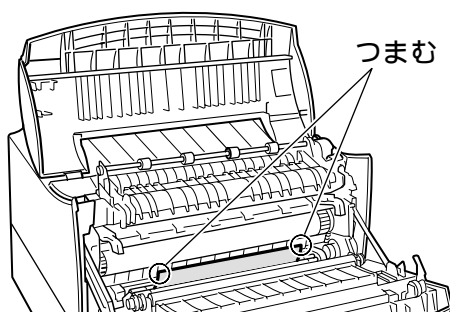
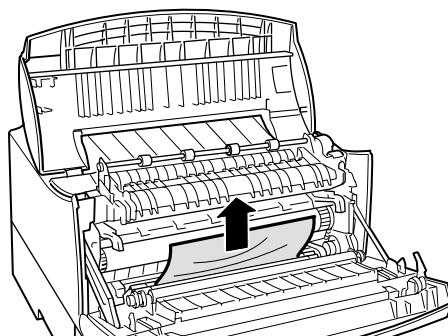
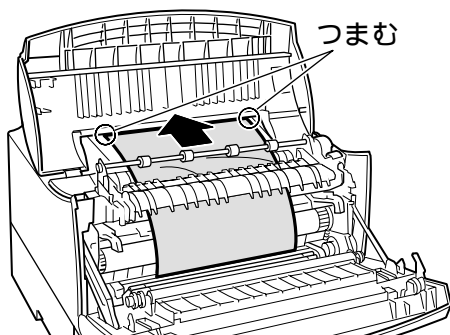
つまった用紙の取り除きかたを、用紙のつまった場所ごとに説明します。

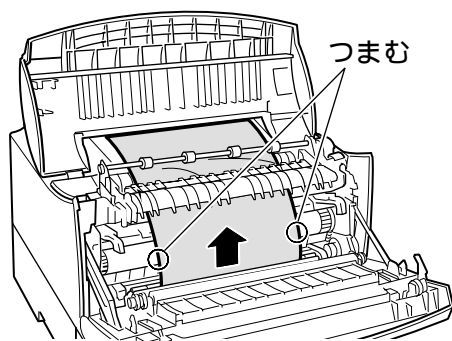
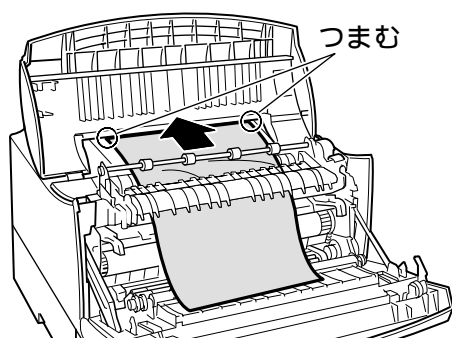
プリンタ内部でつまったとき

プリンタ内部でつまった用紙は、次の手順に従って取り除いてください。

1 フロントカバーを開く

プリンタの電源を入れたまま、左右のフロントカバー開閉レバーをつまみながら、フロントカバーを手前に引き、ゆっくりと開きます。

2 トップカバーを開く

トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開きます。

3 つまった用紙が見えているときは、用紙の見えかたに応じて、用紙を引き抜く

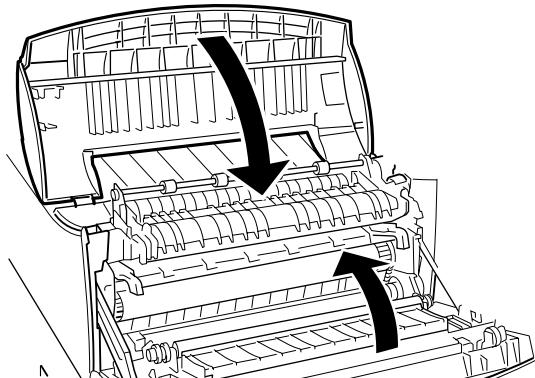
【用紙先端が用紙カセットから出ている場合】

つまった用紙の左右の先端をつまんで、ゆっくりと上方向に引き抜きます。

【用紙が装置にはさまれて、後端が用紙カセットから出ている場合】

つまった用紙の左右の先端をつまみ、ゆっくりと排紙トレイ側（後ろ方向）に引き抜きます。

【用紙が装置にはさまれて、後端が用紙カセットから出ていない場合】

① 用紙の左右中程をつまみ、上方向に引き、用紙後半を用紙カセットから引き出します。

② 用紙の左右の先端をつまみ、ゆっくりと排紙トレイ側（後ろ方向）に引き抜きます。

⚠注意	やけど　プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

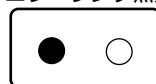
お願い

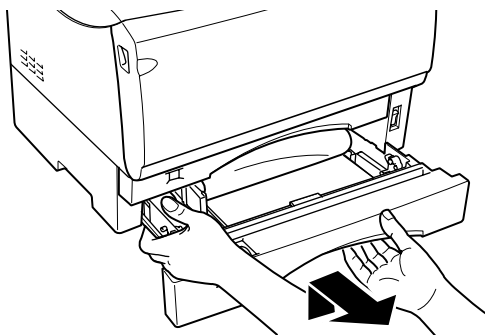
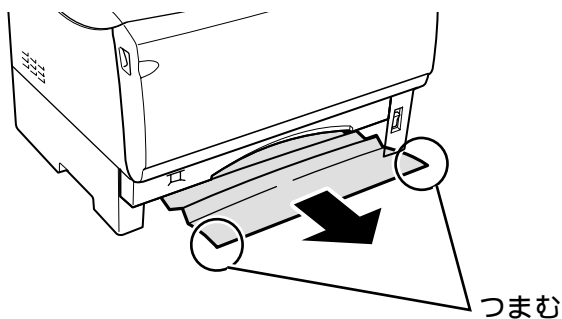
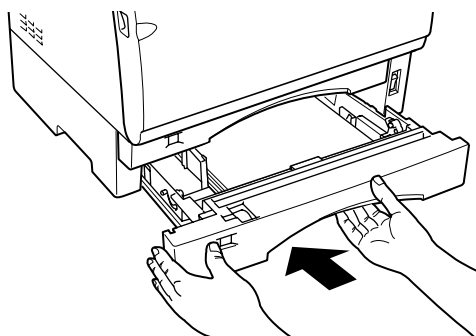
感光ドラムの表面には､絶対に触れないようにしてください。

1. トップカバーを閉じる

2. フロントカバーを閉じる

4　*トップカバーとフロントカバーをゆっくりと閉じる*

トップカバーをゆっくり閉じてから、フロントカバーをゆっくり押し上げて、カチッと音がするまで閉じます。
つまった用紙が取り除かれていれば、エラーランプが消灯し、自動的に印刷が再開されます。

紙づまりになったとき

給紙カセット、MPカセットでつまったとき

給紙カセットまたはMPカセットでつまった用紙は、次の手順に従って取り除いてください。

1 ***紙づまりが発生したときに使用していたカセットを取り出す***

2 ***つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと引き出す***

3 ***手順１で取り外したカセットをセットする***

印刷品質が低下したとき

印刷品質が低下したときは、プリンタの各部を清掃すると改善されることがあります。

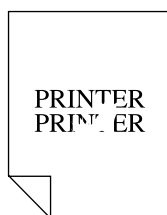
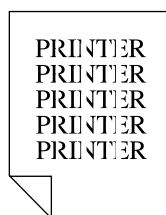
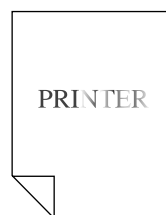
リブプレートの清掃

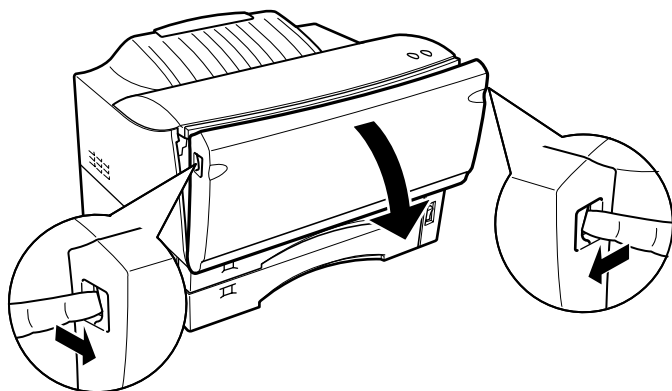
次のような場合は、リブプレートを清掃します。

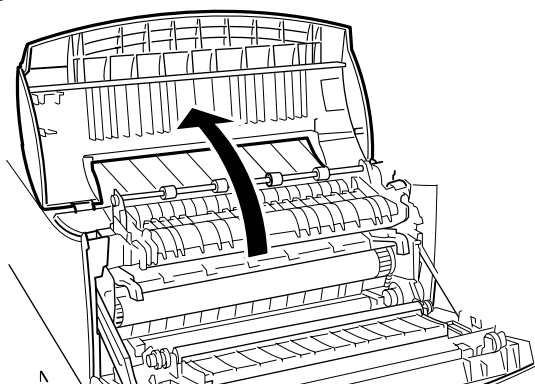
白抜けが起こる

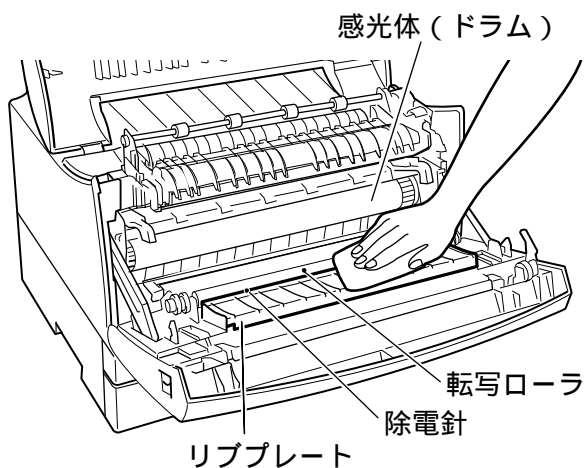
PRINTER
PRIN ER

縦長に白抜けする

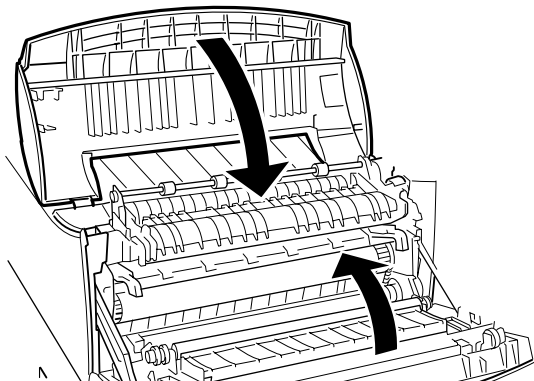
PRINTER
PRINTER
PRINTER
PRINTER
PRINTER

印刷が薄い
（かすれる、不鮮明）

1　プリンタの電源を切り、電源コードを抜く

電源スイッチを「○」側に倒し、コンセントと電源コネクタから電源コードを抜きます。

2　フロントカバーを開く

左右のフロントカバー開閉レバーをつまみながらフロントカバーを手前に引き、ゆっくりと開く

3　トップカバーを開く

トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開く

4 リブプレートの汚れを乾いた柔らかい布で拭き取る

お願い

感光体（ドラム）、転写ローラおよび除電針には触らないでください。

5 トップカバーとフロントカバーをゆっくりと閉じる

トップカバーをゆっくり閉じてから、ゆっくりとフロントカバーを押し上げて、カチッと音がするまで閉じます。

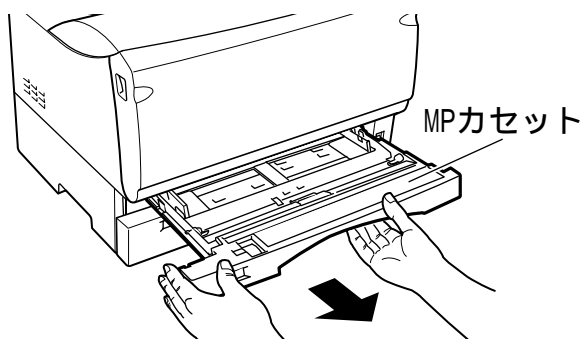
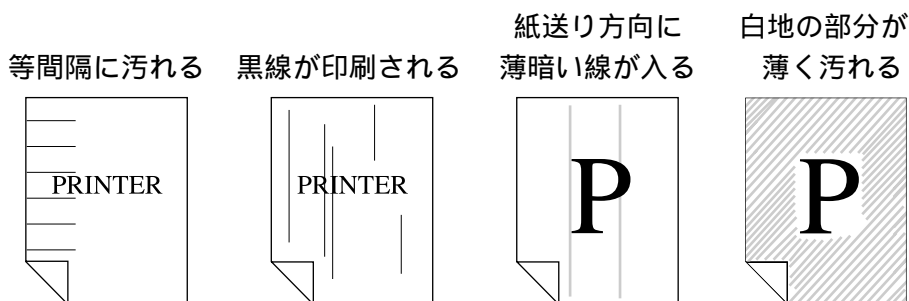
プリンタ内部の清掃

紙づまりの処置や、プロセスカートリッジ交換のあと、上部カバーを閉じる前に、内部を点検してください。

・紙片が残っていれば取り除きます。
・ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。

感光体（ドラム）のクリーニング

次のような場合は、感光体（ドラム）をクリーニングします。

等間隔に汚れる　黒線が印刷される　紙送り方向に薄暗い線が入る　白地の部分が薄く汚れる

1 MPカセットを抜く

2 プリンタの電源をいったん切り、再投入する

プリンタのモータが回転し、クリーニングが開始されます。クリーニングは１分強で終わり、印刷可能な状態になります。
線が消えない場合は、ドラムクリーニングを５〜６回、繰り返してください。それでも改善されないときは、ハードウェア修理センター（12ページ参照）にご連絡ください。

故障の際は下記までご連絡ください。

『ハードウェア修理相談センター』
フリーダイヤル ： 0120-422-297
受付時間 ： 平日 9:00 ～ 17:00
（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）

このマニュアルは再生紙を使用しています。